

九条の会

2005・8・1

第48号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

9500人参加、感動広げた「有明講演会」

地域、分野別の「会」3千突破

7月30日、「九条の会・有明講演会」が開かれ、**9500**人の参加者が有明コロシアムを埋めました。開会**30**分前からは、クラシックギターの第一人者・荘原清志さんが心にしみいるギター演奏で参加者を歓迎しました。

午後1時**30**分、講演会は事務局の小森陽一(東京大学教授)、渡辺治(一橋大学教授)両名の司会で開始されました。最初に発足いらいこの1年間の「九条の会」の活動が報告されるとともに、「九条の会アピール」に応えた地域・分野別の「会」が1年余で**3000**を突破し、**3026**に達したことが発表されました。なかでも、北海道、神奈川、大阪、京都は**200**を突破しています。

熱弁に共感の拍手、時には爆笑

最初に講演した三木睦子さん(三木武夫記念館館長)は「九条が危ないと燃えたぎるような気持ちでやってきた」と切り出し、「みんなで戦争を拒否すれば、平和をもたらされる」とよびかけました。

つづいて鶴見俊輔さん(哲学者)が、『もうろくの春』という本を出版したことを紹介し、私はじぶんのもうろくを盾として戦争に反対しつづける」と宣言。

小田実さん(作家)は、かつて、中国の孫文が日本にたいし軍事力による覇道をめざすのか、道義による王道をめざすのかと問いかけたことを紹介し、「世界のんびと、アジアのんびとがわれわれを信頼するのは平和憲法があるからで、このことを深く考えるべき時期にきた」と語りました。

奥平康弘さん(憲法研究者)は、国会の憲法調査会の論議に触れながら、9条1項を残すから平和主義は変わらないとの論議を批判し、「憲法9条1項は、戦力を保持しない2項と結びついて意味をもつので、2項欠いた1項は抜け殻」と指摘しました。

大江健三郎さん(作家)は「求めるなら助けは来る、しかし決して君の知らない方法で」という友人の詩の一部を紹介し、若い人たちが、自分たち古い世代の知らなかった形でこの国に変化をもたらすことへの期待を表明しました。

最後に井上ひさしさんが、敗戦時の男子

の平均寿命が **24** 歳だったことを紹介しつつ、「自分の運命は自分で決める、と頑張れば世界的な動きになって奇跡がおこるかもしれない。私もそうした奇跡に人生をかけた」と結びました。

なお、この日は帯広の講演会の先約があり欠席した澤地久枝さん(作家)がビデオをつうじ、「私たちは賢くなって勉強することを求められています。あきらめないでやっていきたい」とのメッセージを寄せました。

それぞれの持ち味に、気迫を込め、時にはユーモアをまじえながらの話に、会場はしばしば共感の拍手がおこり、爆笑でわきかえる場面もありました。

山梨県からグループで参加した一人からは、「参加者一同深い感動につつまれて帰ってきました。ともすれば絶望しかねない情勢ですが、あきらめず努力したいと思えます。ありがとうございました」とのメールをいただきました。

海外のマスコミも注目

「有明講演会」は多くのマスコミも注目し、「朝日」、「読売」、「毎日」、「共同」や「東京」、「埼玉」、「神戸」などの地方紙、NHK、TBS テレビなど国内のマスコミばかりか、イギリス BBC、アメリカ VOA、韓国 KBS、AP 通信、AFP 通信など海外のマスコミも取材に訪れました。

〈紹介された来賓〉

講演会にはつぎの方々が来賓として出席し、会場で紹介されました。

石井郁子(衆)、市田忠義(参)、糸数慶子(参・代理)、井上哲士(参)、紙智子(参)、志位和夫(衆)、土井たか子(衆)、中川治(衆・代理)、仁比聡平(参)、福島瑞穂(参)、山口富男

(衆)、吉川春子(参)

(衆=衆議院議員、参=参議院議員)

岡野加穂留(明治大学元学長)、品川正治(経済同友会終身幹事)

九条の会からの訴え

「九条の会」は7月 **30** 日、つぎのような訴えを発表しました。

◎「九条の会」アピールに賛同し広範な人びとが参加する「会」を、全国の市区町村、学区、職場、学校につくり、さらに広げましょう。

◎相互に情報や経験を交流しあうネットワークを広げ、来年、全国的な交流集会の開催をめざしましょう。

◎大小無数の学習会を開き、日本国憲法9条の意義を学び、改憲キャンペーンをはねかえしましょう。

◎私たちひとりひとりが、ポスター、ワッペン、署名、意見広告、地元選出の政治家・影響力をもつ人びとやマスコミへのハガキ運動など、9条改憲に反対する意思を、さまざまな形で表明し、大きな世論をつくりだしましょう。

【事務局からのお詫びとお知らせ】

「有明講演会」の開催にあたっては、会場が通常はテニスの競技場であることを考慮し、事務局では何度か下見をおこない、前日には音響の試験なども行いました。しかし、当日は一部座席で聴取不能の状態が発生し、ご参加の皆さまにご迷惑をかけた。心からお詫び申し上げます。

なお、当日の講演内容は至急ビデオに編集し、広く皆さまにご活用いただけるよう準備中です。